

# スポーツフェス2015

## 〔 国体記念 ティーボール大会 開催要項 〕

### 1. 目的

「体育の日の行事」スポーツフェス2015において、ゆめ半島千葉国体デモンストラーションとしてのスポーツ行事「ティーボール」を継続して開催し、スポーツに対する意識の高揚と青少年の健全育成を図ることを目的とする。

2. 開催日 平成27年10月12日(月・祝) 10:00 ~ 15:00

3. 主催 印西市・印西市教育委員会・千葉県野球連盟

4. 主管 印西市スポーツ少年団

5. 運営協力 印西市少年野球連盟

6. 協賛 千葉ロッテマリーンズ

7. 場所 松山下公園 野球場

### 8. 種別及び参加人員

種別	監督	コーチ	選手	チーム数	合計
小学生	1名	2名以内	20名以内	9	207

(1) 選手は、小学4年生以下16名以内、選手の保護者(母親)4名以内とする。

(2) 小学生は、男子のみ・女子のみ・男女混合のいずれでもよい。

### 9. 競技上の規程及び方法

#### (1) 競技規則

ティーボール競技 印西版特別ルールを適用する。

#### (2) 競技方法

ア トーナメント方式とし、1試合4回とする。(1チームは2試合行う。)

イ 試合は10名(うち保護者2名以内)の選手で行うものとする。

#### (3) その他

競技実施に必要な事項は、別に定める。

### 10. 参加上の注意

(1) 選手は、運動のできる服装で、帽子・グローブ・運動靴(金属スパイク禁止、但し少年野球用は可)を持参し、着用するものとする。

(2) バット・バットイングティー・ボール・ゼッケンは主催者側で用意する。

(3) 主催者は、大会参加者対象の傷害保険に一括加入する。

### 11. その他

○ワンポイントレッスンを行う。

講師	板倉 義和	元千葉県野球協会技術強化委員長 前国体千葉県チームヘッドコーチ 現千葉テレビ放送高校野球解説者
	伊藤 亮裕	現国体千葉県チームヘッドコーチ 現千葉テレビ放送高校野球解説者
	土井 実	日本野球協議会主催指導者講習会

## ティーボールの概要

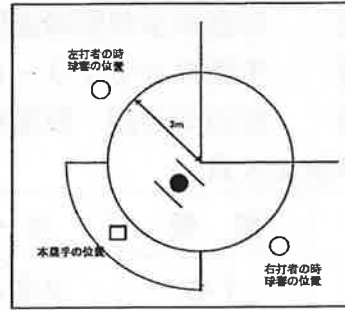
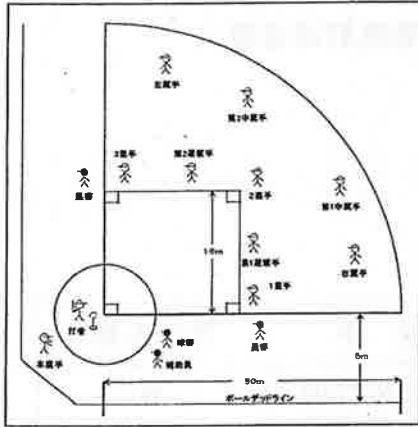
### 1. ティーボールとは

ティーボールは、野球やソフトボールに似たゲームですが、大きく違うところは投手がないことです。本塁プレートの後方に置いたバッティングティーにボールを載せ、打者がその静止したボールを打つので、誰でも「打つ」ことの楽しさを味わうことができます。このゲームは、1988年にIBA（国際野球連盟）とISF（国際ソフトボール連盟）が協力して、野球やソフトボール入門期の子どもたちのために考案されたものであり、打つだけでなく、守備側も常にボールが飛んでくるので、捕球、送球の機会が多く、ほどよい緊張感の中で楽しめる競技です。

### 2. ゲームの方法

競技者は1チーム20名以内とし、両チームの選手の数と同数で競技を行います。チームは、攻撃側と守備側に分かれ、攻撃側の全打者が打撃を完了した時点で攻守を交代し、4回を終えたときの得点の多いチームが勝者となります。守備側は10名であり、本塁手と5名の内野手、4名の外野手で守ります。

### 3. 競技施設、競技場等の概要



## スポーツフェス 2015 ティーボール大会 組合せ

平成27年10月12日(月・祝)  
印西市松山下公園 野球場

#### [ 第1会場 ]

チーム名	勝・敗 (得点)	勝・敗 (得点)	勝・敗 (得点)	対戦相手	勝敗数	得失点	順位
	①	②	③				
①					勝 敗	点	
②					勝 敗	点	
③					勝 敗	点	

#### [ 第2会場 ]

チーム名	勝・敗 (得点)	勝・敗 (得点)	勝・敗 (得点)	対戦相手	勝敗数	得失点	順位
	④	⑤	⑥				
④					勝 敗	点	
⑤					勝 敗	点	
⑥					勝 敗	点	

#### [ 第3会場 ]

チーム名	勝・敗 (得点)	勝・敗 (得点)	勝・敗 (得点)	対戦相手	勝敗数	得失点	順位
	⑦	⑧	⑨				
⑦					勝 敗	点	
⑧					勝 敗	点	
⑨					勝 敗	点	

## ティーボール競技 印西版特別ルール

### 1. 施設・用具

- (1) 使用球は1 1インチのティーボールとし、バットはティーボール用バットを使用する。
- (2) 塁間は1 6メートル、外野フェンスまでは4 0メートル以上の距離とする。
- (3) グラブを使用すること。
- (4) 金属性スパイクは禁止する。

### 2. バッターズサークル

- (1) 本塁プレートの角を中心として半径3メートルの円を描き、打者はこの中で打撃を行う。
- (2) 本塁手（キャッチャー）は、打者が打撃を完了するまで、サークルの外にいないなければならない。

### 3. バッティングティー

- (1) 本塁プレートの後方5 0 c mに置き、打者は打撃すること。

### 4. 選手・試合

- (1) 1チームの登録選手は、小学4年生以下1 6名（男女不問）以内、選手の保護者（母親）4名以内とする。
- (2) 試合はトーナメント方式で、1試合4回までとし、1 0名の選手（うち保護者2名以内）で競技する。
- (3) 出場する選手はゼッケン着用するものとする。
- (4) 選手交代はゼッケンを引継ぐものとし、守備の選手交代は、事故やケガ等を除き、攻守交代時からとする。（エラー等の理由による交代は認めない。）
- (5) 1 0名の選手が打撃（打順は1～10のゼッケン順）を完了した時点で攻守交代とし、最終打者が打撃を完了した時点で残塁があった場合は次回に引き継ぐ。ただし、最終回の残塁はこの限りではない。
- (6) 終了時で同点の場合は、抽選により勝敗を決定する。
- (7) エキストラヒッター（打撃のみ）は採用しない。ただし、最終回の後攻については除くものとする。

### 5. 打撃

- (1) 打者は審判が「プレイ」を宣告した後、ティーに載せたボールを打つ。
- (2) 審判の「プレイ」宣告前に打った場合は、ストライクとなる。ツーストライク後において同様の場合は、打者はアウトとなる。
- (3) ティーだけを打ったときは、空振りでもストライクとなる。ツーストライク後に

において同様の場合は、打者は三振となる。

(4) ツーストライク後のファウルは、打者はアウトとなる。

(5) バントやプッシュバントは認めない。ツーストライク後から行った場合は、打者はアウトとなる。

## 6. 走塁

(1) 走者は、打者が打った後に離塁することができる。離塁が早い場合は、走者はアウトとなる。

(2) 盗塁は認められない。

(3) スライディングは禁止する。スライディングした場合は、走者はアウトとなる。

(4) 走者は、審判がタイムを宣告した時は、進塁することができない。(ボールデッドとなり、直前の塁に戻される。)

(5) 1塁、2塁、3塁での駆け抜けは認められる。走者は塁ベースを駆け抜けた後、進塁の意思がない場合は、野手にタッチされてもアウトにはならない。

(6) ボールが捕球や送球のミスで、ボールデッドラインの外に出た場合は、1個の塁が与えられる。

## 7. 特別事項

(1) 審判は「内野でのプレイが中断した」、「外野から内野(インフィールド付近)に返球されプレイが中断した」と判断した時は、タイムを宣告する。

(2) 最終打者で走者(3塁、1・3塁、2・3塁、満塁)がいる場合、打球処理を本塁以外でアウトにした時は、3塁ランナーの得点を認め、アウトとなった走者を除いて次のイニングに引継ぐものとする。

## 千葉県野球連盟 子供たちの健全育成 目標 2 点

司馬遼太郎先生が、小学校 6 年生の教科書に記載された中に、「助け合うことは、人間にとって大きな道徳である。」という言葉があります。

助け合うという気持ちや行動のものは、いたわりという感情です。他人の痛みを感じるというについても良いと思います。やさしさと言い換えてもいいでしょう。「いたわり」「他人のいたみを感じること」「やさしさ」どれも似たような言葉ですね。この 3 つの言葉は、もともと一つの根から出たものです。根といっても生まれながらの本能ではありません。だから私たちは、いろいろな訓練をしてそれを身につけなければいけないのです。

どうやってそのいたわりの根を育てていくのか。分かりますか。難しそうに見えますが、実は、意外と簡単なことです。例えば、友達がころぶ、ああ痛いだろうなと感じる気持ちを、その都度自分の中で作りあげて行きさえすればいいのです。その根、この感情が自分の中にしっかりと根づけば、友達や家族といった身近な人たち、地域の人たち、更には他の国の人たちへのいたわりという気持ちが沸いてくるのです。皆さんさえそういう自己をつくっていけば、21 世紀は人類が仲良しで暮らせる時代になるに違いないと信じています。まして、いじめなどは皆無になると思います。

もう一つ大事なことがあります。皆さんは、日々スポーツを楽しんでいますね。「人より上手になりたい。カッコいいプレイをしたい。強くなりたい。」と考えている人がたくさんいると思います。でも、カッコいいプレイの陰には必ず、ミスやみつももないあからさまな状態で、人前で負けるといった経験をしたことが誰でもあるものです。でも、そのことが次のモチベーションにつながるのです。失敗できることが、スポーツの魅力です。たくさん失敗を繰り返しながら強く上手になっていくのです。失敗の経験があるから友達の失敗にも心の底から「ドンマイ」という言葉がかけられるようになるのです。

また、同じ負けでもテレビゲームなどでは、スポーツのような達成感はないでしょう。体を動かしていないからです。汗をかき疲労感や心拍数のあがるスポーツは負けても爽快感があります。是非、皆さんにはこれからもスポーツを生涯の友達としてほしいと願います。

千葉県野球連盟では、今まで千葉市内少年野球教室、千葉県内ティーボール教室などを中心に、約 7,000 の講習会を実施しました。今後も内容を一層充実させ、実施していきたいと思えます。